

福島原発をゆく(3)

原発視察を前に、富岡町の東電(旧)エネルギー館で福島第一原発の現状などの説明を聞いた。ここは第二原発に近く、東電のPR施設として1988年に開館したが、現在は第一原発を視察に訪れる人の受け入れ拠点となっている。



写真は1~4号機の状況である。各号機とも「冷温停止状態」を継続しているという。この説明を聞き、あとから実際に原発建屋などを見て、2011年3月11日の原発事故を思い出した。映像と写真を通じて、何回も見た悲惨な光景だ。

写真は中日新聞東京本社『3.11の衝撃 震災・原発—特報部は伝えた』2011年から。順に「爆発5時間前—その時内部では……」「防波堤を乗り越え、重油タンクに押し寄せる津波」「3号機に放水する自衛隊の消防車」。



原発視察後、NHK「ニュースウェブ」にこんな記事が。—福島第一原子力発電所 3号機で、ことし秋にも予定されている使用済み燃料プールからの核燃料の取り出しについて、東京電力は28日、クレーンの制御盤に不具合が見つかった影響で遅れる可能性があることを明らかにしました。3号機の使用済み燃料プールには566体の核燃料が残されていて、…先月、「キャスク」と呼ばれる核燃料の輸送用の容器を持ち上げるクレーンの試運転を行っていたところ、制御盤の電気系統に不具合が起きたということです。

(2018年7月1日)